

挨拶は基本中の基本

関川村立関川中学校 3年 駒 沢 愛

学校のスローガンや呼びかけのポスターなどでよく「挨拶」という単語を目にします。

「誰にでもすすんで挨拶をしましょう。」

これは、生徒がつくった呼びかけのポスターです。ここにも「挨拶」という単語が入っています。さらに、私たちの学校は「挨拶のよい関川中」を伝統として今年度も取り組んでいます。なぜ、そんなに挨拶を必要とするのでしょうか。

その理由は私たちの未来にあると思います。今、挨拶ができないと将来困ってしまうからです。だから今のうちに挨拶の習慣をつけるのだと思いました。挨拶はとても重要なもので、年をとってからもずっと大切なものだと思います。

「挨拶」という単語を辞書で調べてみました。すると、五つも意味がでてきました。一つ目は、人に会ったり別れたりする時に言う言葉。二つ目は、初めて会う人に自分を紹介する言葉。三つ目は、集会の始めや終わりに主催者や来賓がその場の人々に感謝やお祝いの気持ちを述べる言葉。四つ目は、手紙の始めや終わりに書く言葉。五つ目は、相手に対する敬意を表す行動。「挨拶」という単語だけで、五つも意味があり驚きました。それだけ重要性がある言葉なんだなと思いました。

ところが、思いがけない出来事がありました。それは部活のために移動していた時や登下校の時など、私は誰かとすれ違うたびに挨拶をしています。挨拶を返してくれない大人がいたことです。少しショックでした。と、同時に人前で独り言を言ってしまったような感じがして、恥ずかしさがでてしまいました。最初は、なぜ挨拶を返してくれないんだろうという考えでした。しかし、しばらくすると自分の声が小さかったのでは、という考えも浮かんできました。もしかしたら、相手は言うタイミングを逃していたのかもしれない。

こんなことがありました。部活動で他校へ練習試合に行った時のことです。私たちは挨拶をするタイミングを逃し、挨拶ができませんでした。すると、顧問の先生が私達を集めて、こんな事を言いました。

「挨拶のタイミングはその時しかない！それを逃したら挨拶はできない！だから、人と会ったらすぐ挨拶をしなさい！」

と。確かに、顧問の先生の言う通りでした。

「挨拶のタイミングが、ちっとも分からない…」という人は、特に二つのことに気をつけたいと思います。一つ目は、相手を見つけたらすぐ挨拶することです。すぐにしないとついそびれてしまいます。二つ目は、自分と相手との距離を気にすることです。遠いところでいきなり挨拶をしたら相手は「自分に挨拶をしているのかな？」という感じになったり、声が小さくて相手に届いていないという事もあります。そこから生じる誤解もあるかもしれません。この二つに注意すればばっちりだと思います。

しかし、挨拶ができて心がかもってなければ意味がないと思う人もいるかもしれません。確かに心をこめることは大切ですが、言わなければ相手に何も伝わりません。心を

こめるのはこの次の段階だと言ってもよいと思います。それに、相手のことをまっすぐに見るだけでも相手に心のこもった挨拶ができると私は思います。

挨拶は大人になってからするものではありません。今からするものです。今のうちに挨拶の癖をつけておけば後々楽です。挨拶さえちゃんとできれば人間関係で悩むという率は下がると思います。また、成績がよくて優秀な人でも、挨拶ができなければその人に対する人としての評価は下がってしまう気がします。未来のために今からしっかり挨拶の基礎を身につけるようにしましょう。

私は、人に会ったら思いをこめてしっかり挨拶をしたいです。そして、これからの子供達のお手本になるような存在になりたいです。